資 料 5

会議結果（要旨）

会議名	令和５年度第１回音更町障がい福祉計画等推進委員会作業部会
開催日時	令和５年１０月１８日（水）　午後６時２５分から午後８時
開催場所	音更町役場庁舎３階　３０１、３０２
部会員出席者	佐藤部会長、神谷部会員、佐々木部会員、瀧上部会員、丸瀬部会員
事務局出席者	川田福祉課長、重堂発達相談担当主幹、福田障がい福祉係長、原尾障がい福祉係専門員、小田原発達相談係主事、坂東障がい福祉係主事
傍聴者数	なし
議件	（１）現計画の最終評価に係る事務局案について （２）新計画の基本計画に係る事務局案について （３）その他
会議資料	別添のとおり
会議結果	（１）現計画の最終評価に係る事務局案について 現時点の委員会評価案を決定 （２）新計画の基本計画に係る事務局案について 事務局案のとおり決定 （３）その他 今後のスケジュールを確認
出された主な意見等	**【（１）現計画の最終評価に係る事務局案についてに関する主な質疑】** ○　今年度は相談支援部会は何回開催されているか。 →　現時点で２回開催されており、計４回の開催になる予定。 ○　第１子ども発達支援センターに事業所に送迎がないのはなぜか。 →　委託で運営しているため、送迎の実施には委託先との協議が必要。 また、親と子どもの関わり方を含めて療育を行っているため、療育終了後、必ず親とも話をするため送迎がない。 ○　子どもの医療的ケアについての取り組みはあるが、大人の医療的ケアの取り組み内容がない。音更町内に大人の医療的ケアに対応できる生活介護事業所等がないが何か対策は考えているのか。 →　大人の医療的ケアの対策については、新計画策定時の課題としたい。 ○　発達支援トークの状況はどうなっているのか。 →　令和４年度までは年３回の開催で、町に申し込みが必要であったが、令和５年度から子育てサロンに移管したことで毎月開催になり、事前申込が不要になったため、利用者が気軽に参加しやくなっている。 ○　福祉除雪の対象者について、対象者を決める時の基準は何か。 →　民生委員が対象者を選別している。 ○　（３）-①-２の成年後見サポートセンターの運営で自己評価が上がっている理由は何か。また、法人後見については、該当しない項目ではないか。 →　障がい者の利用が増えており、支援体制が整っていることから自己評価を上げている。また、法人後見については削除する。 ○　（３）-②-４のコミサポカフェの回数が２回となっているが、奇数月に開催していることから、５月、７月、９月の３回ではないのか。 →　確認し３回と訂正。 ○　（３）-⑤-３消費生活センターとの連携において、研修会の実施回数が０回となっているが、他にどのような取組をしているのか。実施して

	いる取組があるなら記載してはどうか。 →　パンフレットを作成し配布している。実施実績に記載する。 ○　数値目標１で自立訓練の実績が増えないのはなぜか。、また、地域移行支援、地域定着支援の実績が増えないのはなぜか。 →　自立訓練は事業所が帯広市に数か所あるのみ数が少ない。自立訓練の需要はあるが、制度的に事業所の経営が難しいため、数が増えない。そのため、他のサービスで自立訓練の内容を補完することが多い。 　また、地域移行支援、地域定着支援については相談支援事業所が実施するものであるがコロナの影響で実施できていないことや、そもそも相談支援事業所の数が足りていないため、実績が増えていない。 ○　数値目標３で福祉施設から一般就労へ移行している数が令和４年度と令和５年度で実績が下がっているのはなぜか。 →　令和４年度の実績は令和３年度にコロナの影響で移行出来なかった人の数も含まれていると思われる。実質の実績は横ばいだと思われる。 ○　数値目標５で職場体験事業の利用状況はどうなっているのか。 →　職場体験利用については令和５年１０月時点で３名実施の見込み。現在、ほかに２名調整中である。 **【（２）現計画の最終評価に係る事務局案についてに関する主な質疑】** ○　アンケート調査で１８歳未満の回答者数が減少している。 →　３～４月にかけて実施したため、進学時期の忙しい時期であったと考えられる。今後は調査時期含め検討し実施する。 ○　人口減少に対し、障がい者の数は増えている状況。 →　音更町障がい福祉計画の重要性が高まっている。